

おおはる コミュニティ・スクール 通信

No. 9 (令和7年4月3日)
大治町立小中学校運営協議会
事務局 大治町立大治小学校

「自他を大切に、たくましく生きる大治の子」「地域とともにある学校」をめざして

大治町は、大治小、大治南小、大治西小、大治中の4校で1つの学校運営協議会を設置し、小中連携や小学校間連携の促進を図ります。大治町学校運営協議会は、保護者や地域の方と学校が協力して協議を進めることで、地域と学校が一体となってよりよい学校づくりに努めます。

○ 令和6年度第3回大治町立小中学校運営協議会を開催しました。

3月12日(水) 大治町立公民館で開催された会議の主な内容は次の通りです。

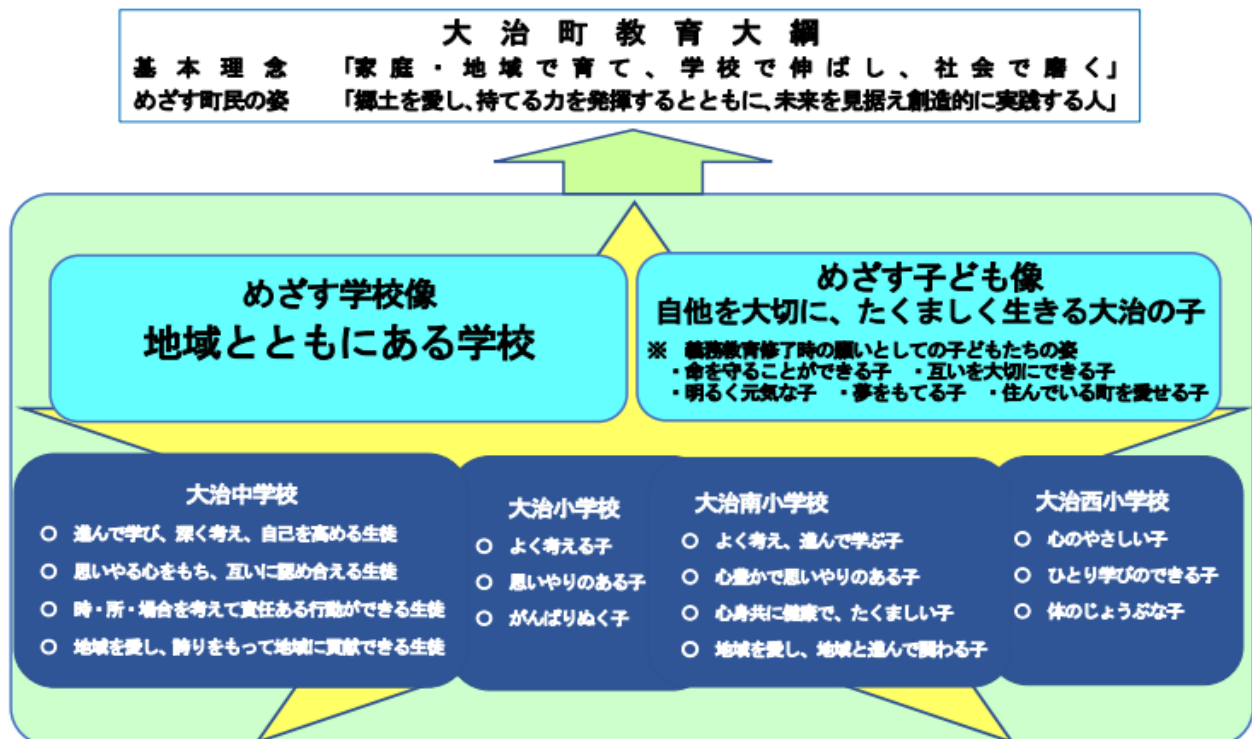
会議次第

- ・ 会長あいさつ
- ・ 報告事項
- ・ 協議事項
- ・ 意見交流
- ・ 町教育委員会より
- ・ 諸連絡

- 報告事項・・・令和6年度の地域学校協働活動、小・中、小・小連携の取組、学校評価アンケート結果について報告がありました。地域学校協働活動では、今年度も昨年度並みの活動が行われました。中学生が地域団体・地域行事にボランティアとして出かける機会が増えました。学校評価アンケートでは、各学校ともに、結果を真摯に受け止め次年度に生かす努力をしています。
令和6年度大治町立小中学校の学校評価の結果は、2枚目をご覧ください。
- 協議事項・・・学校評価(アンケート)をもとに見直された、令和7年度大治町立小中学校が目指す子ども像、各学校の経営方針、小・中、小・小連携の計画について協議し、承認されました。大治町立小中学校が目指す子ども像・学校像については、下記に掲げる通りです。また、各学校の経営方針については、4月以降に学校のホームページ等で公開されますのでご覧ください。

- 意見交流・・・地域団体・地域行事のボランティアに学校を休みがちなが参加しており、居場所となっています。令和8年度から部活動地域連携が本格実施となります。海部地区全体を見るとあまり計画が進んでいない中、大治町では地域団体・企業との連携が進み、先進的な取り組みが進みつつあります。
- 町教育委員会より
 - ・ 大治町教育大綱の改定の検討をしていきます。
 - ・ 不登校児童生徒の減少に取り組んでいきたい。
 - ・ 部活動地域展開は、持続可能な取り組みを模索中です。

令和7年度 大治町立小中学校がめざす子ども像



令和6年度末の学校評価(アンケート)結果

これまで、各校において保護者を対象に学校評価活動を行っていますが、学校運営協議会としては、4小中学校共通する評価項目について結果を集約することとしました。また、各学校の結果は、それぞれのホームページに掲載します。

評価の時期は12月～1月とし、各校の保護者を対象としました。また、発達段階を考慮して中学校においては同様の内容で生徒も学校評価に取り組んでいます。

※表中に記載された数字の太字ゴシックは、肯定的な意見が85%以上、太字ゴシック斜体は、否定的な意見が20%以上

※各項目の下段の数は、令和5年度の結果

※ 学校評価アンケート結果			保護者評価				生徒評価	
No.	項目	質問内容	小学校		中学校		中学校	
			肯定的な評価	否定的な評価	肯定的な評価	否定的な評価	肯定的な評価	否定的な評価
1	教育活動	児童生徒は、おおむね安定した心で登校している	90.2%	9.8%	89.4%	10.6%	94.1%	5.9%
			91.4%	8.6%	86.9%	13.1%	93.0%	7.0%
2	教育活動	先生は、わかりやすい授業を工夫している	91.1%	8.9%	82.9%	17.1%	92.2%	7.8%
			93.5%	6.5%	84.7%	15.3%	94.9%	5.1%
3	教育活動	先生は、児童生徒をよく理解し真剣に対応している	88.3%	11.7%	84.8%	15.2%	88.2%	11.8%
			91.4%	8.6%	87.8%	12.2%	92.6%	7.4%
4	教育環境	学校は、不審者対策と実行、危険箇所などへの配慮があり、安全である	83.7%	16.3%	82.5%	17.5%	83.0%	17.0%
			83.1%	16.9%	85.2%	14.8%	84.4%	15.6%
5	教育環境	学校は、教育用ICT機器(タブレット端末など)を積極的に活用している	76.1%	23.9%	64.0%	36.0%	75.8%	24.2%
			78.3%	21.7%	62.5%	37.5%	73.9%	26.1%
6	地域とともにある学校	各種の通信は、学校や学校行事、生徒の様子がよくわかる(保護者に渡している)	82.8%	17.2%	80.1%	19.9%	72.7%	27.3%
			83.1%	16.9%	78.8%	21.2%	75.1%	24.9%
7	児童生徒活動	児童生徒は、好ましい友人関係があり、楽しく登校している	91.6%	8.4%	88.7%	11.3%	94.0%	6.0%
			90.1%	9.9%	86.9%	13.1%	94.4%	5.6%
8	児童生徒活動	児童生徒は、気持ちのよい挨拶をする	72.4%	27.6%	76.7%	23.3%	82.3%	17.7%
			73.5%	26.5%	80.3%	19.7%	86.2%	13.8%
9	児童生徒活動	児童生徒は、意欲的に学習に取り組んでいる	77.0%	23.0%	63.3%	36.7%	75.0%	25.0%
			78.7%	21.3%	70.0%	30.0%	82.2%	17.8%
10	児童生徒活動	児童生徒は、社会や学校のルールをよく守っている	92.0%	8.0%	86.0%	14.0%	95.7%	4.3%
			90.5%	9.5%	89.5%	10.5%	97.3%	2.7%
※学校評価の結果からの成果と課題								
項目		成果・課題						
教育活動		児童生徒は安定した心で学校生活を送り、授業や教師の児童生徒への対応に概ね肯定的という結果でした。一方、保護者の評価は生徒の評価よりも低いものとなっていますが、昨年と比較すると上がっている項目もあります。今後は、より一層「わかる授業」や温かい児童生徒対応を目指します。						
教育環境		日頃から校舎内外の見回りを徹底するなど不審者対応や日常の危険箇所点検を徹底するなど、児童生徒の安全安心な学校生活を守るため継続して取り組んでいきます。 タブレットの活用について、小学校ではその活用内容を保護者にもわかりやすく伝えると同時に、さらなる活用場面の工夫をしていく必要があります。						
地域とともにある学校		小学校で、保護者の評価が昨年度より低くなりました。紙媒体と各種通信のデータ配信のバランスをとりながら、これまで以上に学校での教育活動の様子をわかりやすく伝えるよう心がけます。						
児童生徒活動		同じ項目でも、小学校と中学校の保護者で評価に差が見られたり、生徒と保護者の間でも項目によっては大きな差があったりする結果でした。そんな中、挨拶については全ての対象で、昨年度を下回る結果となりました。今後も教職員からの積極的な挨拶、PTA、民生児童委員の挨拶啓発運動を根気よく継続すると同時に、家庭にも働きかけをしていきます。						